

国鉄改革完遂！
当たり前労働運動
を前進させよう！

JR東海労に
結集しよう！

J R
東海労

静岡

J R東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町 68
NTT 054-284-3608
FAX 054-283-6365
発行責任者 半場 弘恭
2026年3月6日 No. 18

第35回定期地本委員会を開催

26春闘ベア 20000円定昇 6000円満額獲得しよう！

憲法9条改悪を許さないためあらゆる労働者・市民と連帯しよう！



地本は、2月24日静岡労政会館において第35回定期地方委員会を開催し当面する春の闘いの意思統一をしました。司会者の植松副委員長は「JS 労の姥くんが御用組合と決別し二重加盟を解消した。JR 東海労は組織拡大をして組織展望を切り開いている。関西の闘いに学ぼう」とあいさつしました。半場委員長は「今春闘でベースアップ20000円、定期昇給6000円と職場改善要求を求めて闘う。衆議院選挙の小選挙区は、県内ですべて自民党が当選した。投票率が低くても自民党が勝ってしまう小選挙区制に問題がある。第2次高市政権が発足した。高市首相は、憲法9条を変えるため、国民投票をする。また武器輸出禁止を解除すると言っている。悪い方向に向かっている。憲法改悪を阻止する取り組みをやっぺいこう。冤罪をなくすために天竜林業高校事件の支援者と連帯して闘っていく。静岡県はJR 東海とリニア建設において大井川の水に影響が出た場合の補償について合意した。要対策土についても処理計画を合意した。ヤード拡張造成についても自然環境保全協定を締結した。2月16日には、JR 東海は環境調査の拠点事務所などを設置するためのヤード用地を拡張するため樹木を伐採し始めた。地本は、静岡県リニア工事差し止め訴訟の会等と裁判傍聴、集会参加、署名活動を取り組んでいく。JR ひがし労と回転ずしユニオンと連帯して春闘を闘おう。すべての取り組みを組織拡大につなげていこう」と闘う方向性を示しました。来賓には、斎藤本部執行副委員長、木下地本OB会長、増田9条連共同代表、渥美 浜松 えん罪と死刑をなくす市民の会から激励と連帯の挨拶をいただきました。

参加者からは「高市政権を許してしまった。労働運動に責任がある。連合がどうしようもないからだ」「大井川の水が減れば牧之原のお茶の生産ができなくなるリニアに反対だ」「ダイヤ改正以降373系の連結作業を乗務員だけでやるが、一度も連結作業をやっていない現車訓練をやるべきだ」「ウクライナの青年が国外に避難していたが、国に帰って戦争に行くと報道されていた。憲法9条に自衛隊を明記すれば、徴兵制をやられる」「憲法改悪に反対する具体的取り組みをしよう」と発言がありました。

総括答弁に立った山本書記長は、「静岡県9条連と一致協力して憲法改悪阻止の取り組みをしていく。引き続きペルー労働者との交流をしていく。リニア建設費が11兆円超となる。減水対策、廃土は1立方メートル3万円掛かると言われている。そのため会社は社員管理を強化し、賃金を抑制してきている。工事により自然環境破壊されてしまう。天竜林業高校事件の三者協議が3月24日に予定されている。北川さん支援の行動に参加していく。ベネズエラへの軍事攻撃と法制審の再審法の改正答申について声明を出してきた。平和な社会をめざしていく。春闘を職場から闘おう」と纏めました。最後に半場委員長の団結ガンバローで閉会しました。

総括答弁に立った山本書記長は、「静岡県9条連と一致協力して憲法改悪阻止の取り組みをしていく。引き続きペルー労働者との交流をしていく。リニア建設費が11兆円超となる。減水対策、廃土は1立方メートル3万円掛かると言われている。そのため会社は社員管理を強化し、賃金を抑制してきている。工事により自然環境破壊されてしまう。天竜林業高校事件の三者協議が3月24日に予定されている。北川さん支援の行動に参加していく。ベネズエラへの軍事攻撃と法制審の再審法の改正答申について声明を出してきた。平和な社会をめざしていく。春闘を職場から闘おう」と纏めました。最後に半場委員長の団結ガンバローで閉会しました。